

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○8月15日～

為替相場は方向感がなくなってきました。

株価は強い動きが続いていますが米国株が天井をつけると一気に流れが変わってくるリスクもあり、注意がいらします。

米国の7月の消費者物価指数は前月に比べて下げてきましたが高い水準にあることは間違いなく、市場がかなり楽観的になっているところも気になります。

9月以降の米国の金融政策に影響が出てくるかにも注目です。

<ドル/円>

ドル/円は135円の抵抗で頭打ちとなって下落してきました。

131.6円を割り込むと130円を試す動きになるので注意がいらします。

下値が132円を維持できれば132-135円程度のレンジになる可能性も。

<気になるクロス円>

クロス円はオセアニア通貨が強い動きになっています。

欧州通貨は弱い動きなので、ユーロやポンドは安値更新の動きを警戒したいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では4-6月期GDP（速報値）、7月貿易統計、6月機械受注、7月全国消費者物価指数などがあります。

米国では8月ニューヨーク連銀製造業景気指数、6月対米証券投資、7月住宅着工件数、7月小売売上高、FOMC議事要旨、8月フィラデルフィア連銀製造業景気指数、前週分新規失業保険申請件数、7月中古住宅販売件数、7月景気先行指標総合指数などの発表があります。

欧州ではドイツとユーロ圏で8月ZEW景況感調査、ユーロ圏で4-6月期GDP（改定値）、7月消費者物価指数などがあります。

ほかには、ニュージーランドで政策金利の発表などがあります。